(ID　0　) ☆7

治療計画書

療法名　JALSG APL-97 寛解導入(D群)　療法　1サイクル＿＿週

疾患名　急性前骨髄球性白血病

注射 / 内服 / 放射線	Rp	商品名 / 照射部位	用量(/回) / 用量(/日) / 照射量	投与ルート / 用法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
注射	1	生理食塩液	200 ml	点滴	キープ	●	●	●	●	●																							
注射	2	グラニセトロン	3 mg	点滴(側管)	30分	●	●	●	●	●																							
注射	3	イダマイシン	12 mg/㎡	点滴(側管)	30分	●	●																										
		注射用水	1mg/mlで溶解																														
		生理食塩液	100 ml																														
注射	4	キロサイド	80 mg/㎡	点滴(側管)	24時間	●	●	●	●	●																							
		生理食塩液	500 ml																														
注射	5	生理食塩液	50 ml	点滴(側管)	ルートフラッシュ						●																						
注射	6																																
注射	7																																
注射	8																																
注射	9																																
注射	10																																
内服	1																																
内服	2																																
内服	3																																
内服	4																																
内服	5																																
内服	6																																
内服	7																																
内服	8																																
放射線			Gy																														

特記事項

・末梢白血球数、APL細胞数により併用薬の変更あり
【A群】WBC3000/μl未満かつAPL細胞(芽球+前骨髄球)1000/μl未満のとき→ベサノイド単独
【B群】WBC3000/μl以上10000/μl未満あるいはAPL細胞(芽球+前骨髄球)1000/μl以上のとき→ベサノイド+イダマイシン(12mg/㎡2日)+キロサイド(80mg/㎡)
【C群】WBC10000/μl以上のとき→ベサノイド+イダマイシン(12mg/㎡3日)+キロサイド(100mg/㎡)
【D群】A、B、C群において、途中APL細胞(芽球+前骨髄球)が1000/μl以上のとき→イダマイシン(12mg/㎡2日)+キロサイド(80mg/㎡)を追加投与

減量規定

薬品名										
標準投与量										
1段階減量										
2段階減量										
3段階減量										